

会長 遠藤家之進正和
 新潟県山岳協会
 新潟市南区鷺ノ木新田1049
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

第48回 自然保護研修会参加報告

自然保護委員会副委員長

伊藤 直 (工友会)

平成21年度第1回(通算第48回)自然保護研修会は、長岡市栃堀「刈谷田ニューホテル」をベースにし、平成21年5月16(土)、17日に自然保護委員会主管で開催された。16日午後3時開会され、参加者は46名であった。

「山、川の環境管理の現場事例から科学や環境を考える」。講師は、亀田山岳会のメンバーでもある田村 健さんである。田村さんは、以前勤務されていた新潟県環境衛生研究所時代より現在に至るまで、環境関連分野で種々、数々の現場調査を行ってこられた。

伊藤 直 (工友会) の実例紹介、穴明きダムの機能有効性、建設への疑問提起、環境調査で生物の多様性が急速に失われてきていることが明らかにになった現状の紹介(ヤマエンゴサク、エゾエンゴサク、センブリのレッドデータなど)など多岐に渡った。ヤマビルの話の中では、ヤマビルは経験的に古生層地帯に多いとの説があることが紹介されたが、スクリーンに投影された新潟県の地質図を見て、下越に住む私にはおおいに納得できるものがあった。次に、環境問題を議論したり、対応策を検討するために重要なことは、事態をまず事実に基づいて正しく認識する科学的な態度であるとし、地球温暖化の原因説に話が進んだ。現在地球が温暖化しつつあることについては種々豊富なデータや実例、我々の日々の実感から大方異論の無いところであろうが、人間活動による温室効果ガス(CO₂、メタンガス

等)の排出が主因であると決め付けるのはいかがなものだろうか。大気中のCO₂濃度が高くなって来ているのは、地球温暖化のむしろ結果であるとのデータさえある。温暖化は、太陽活動の変動が主因であるとの有力な説もまたあることを知って欲しい。温室効果ガス主因説については、IPCC2007年報告やマスコミ、ゴア元副大統領のセッションショナルな採り上げ方に我々は乗せられてしまっている面はないだろうか。IPCC報告では、CO₂等よりもはるかに大きい温室効果をもたらす水蒸気(雲)の影響が無視されている。太陽活動の強さと地球の大気温度には相関がある。やや複雑なメカニズムだが、太陽活動の変化が雲量を変化させることによる。この水蒸気(雲)の温暖化に及ぼす影響評価が難しいという理由で無視し、温室効果ガスが地球温暖化の主因であると断定するのは問題である。もちろんCO₂等が要因の一部であるとは私も思うが、主因はまだ未解明なのである。このような状況でCO₂等だけに責任を負わせてしまえば

真の対策を誤り、取り返しのつかないことになりかねない。現在太陽活動が弱くなる周期にあり、いずれ地球大気温も低下していくという説もあるくらいである。我々も科学的な態度でよく勉強し、何が真実であるか自分の頭で考えてはどうだろうか。異論もあろうが敢えて環境問題に取り組むに当たっての基本姿勢として提起したい。以上のような、かなり難しく手厳しい講義内容であった。我々はややもすると各種セッションナルなキャンペーンに惑わされて、情動的に発言したり行動したりし勝ちだが、情報を幅広く集め、キャンペーンの裏にあることも含めて自分の頭でい



田村講師を囲み話を聞く



新緑の美しいブナ

ま一度よく考え直すことが必要なのだろう。さもなくば、〇〇主犯説をダシにここぞとばかり原発を増設することに利用され、レジ袋をやめて省資源などというキャンペーンで買い物袋やゴミ袋を製造し、かえって資源浪費を増やしてしまふような事態となる。似たような事例は他にもいろいろあるだろう。このことを田村さんは認識させてくださった。実行は難しいだろうが肝心なことであると思う。

続いて質疑応答に入り、いくつか質問があったが、一つだけブナの移植に関することを紹介したい。質問は、移植する苗は他県などから持ってきたものでなくその地元のものだけを使うべきか、というものであった。これについて田村さんは、その土地固有の生物の遺伝子を保存していくためには、その土地で育成したものを使用にこしたことは

ないが、それが難しい場合もある。このような場合を考え、県の農林課では、せめてもの対応として上中下越の3地区産に分けていると回答した。

5時座学が終了し、6時より懇親会が始まり、自然保護委員会で用意した豚汁を頂きながら夜遅くまで、田村さんの講義のショックも反芻しながら種々議論を戦わせたことであった。

翌17日6時起床、夜の雨も止み、曇り空だったが7時15分保久礼小屋前にて実習を開始した。25〜6人が参加。4〜5名が守門岳を目指して登っていった。ブナ・ユキツバキ群落の実物を見ながら、田村さんから関東地区と越後の森の構成の違いを聞いた。積雪の多寡が林床植物構成、生態に大きな影響を与えている。また、同じような樹種構成の森の場合でも関東と越後では受ける感じが違うのであるが、その理由は、子細に観察すればそれぞれ同種の植物にも葉に毛無し/有り等の違い(アブラチャーンケアブラチャーンなど)が有ったりして、それが印象の違いとして我々には

感じられるのだという。8時頃実習も終了し、現地解散となった。

今回の研修では、地球温暖化の原因につきいまだ自分

なりに勉強し、考えて見なければならぬという宿題が与えられた気がする。

田村先生有り難うございました。

2009年度 登山技術

救助技術講習会のご案内

新潟県山岳協会

会長 遠藤家之進正和

● 指導技術委員長 阿部信一

● 遭難対策委員長 榎井利幸

指導技術委員会・遭難対策委員会合同で講習会が開催される。中央から講師を招いての講習会ですので多数の加盟団体の参加をお待ちしています。

日程 平成21年6月20日(土)〜6月21日(日)

場所 講習会：新発田市内の倉ダム 杉滝岩

宿泊 新発田市滝谷 農村婦人の家

講師 渡辺輝男氏(日本山岳協会遭難対策常任委員、東京都山岳連盟遭難対策委員長長わらじの仲間会員 新潟県生まれ)

内容 登攀技術・確保技術・

一般登山のセルフレスキュー・救急法の基礎知識・岩場のレスキュー・救急要請。

持参品 シュラフ・食料・嗜好品・昼食・登攀用具

参加費 2日間参加 2500円

1日のみ参加 1500円

*見学のみの希望者も歓迎。メモや撮影などとして役立て下さい。

*雨天の場合農村婦人の家にての講習となります。

◆ 装備品・参加申し込みなどの詳細は各団体事務局送付済の案内を確認して下さい。

◆ 問い合わせ先

〒959-10232

燕市吉田東栄町32-13

榎井利幸

0256-192-3168

賛助会員入会 ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させて頂きます。

*4月 日〜5月20日現在の
ご入会、ご入金状況です。

森庄一(長岡ハイキングクラブ) / 片桐一夫(長岡ハイキングクラブ) / 山口誠(柏崎山岳会) / 土田幸雄(長岡ハイキングクラブ)

新潟県山岳協会

会長 遠藤家之進正和

理事長 森 庄一

総務委員長 遠藤 俊一

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国立交通大臣登録旅行業第050号 -IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

http://www.uk.s.co.jp

□長岡営業所

〒940-0054 長岡市幸町1丁目3番5号
一級旅行業取扱主任者 森 庄一

☎ (0258)33-7123

□新潟営業所

〒950-0916 新潟市水山3丁目2番11号
一級旅行業取扱主任者 中島 豊

☎ (025)246-2266

越後の山に見られる 変種植物

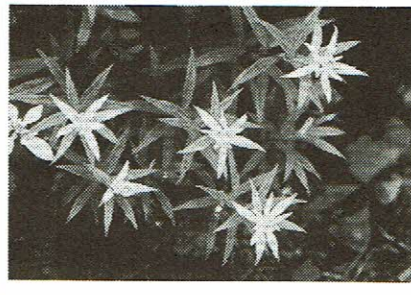
むささび会 加藤 明文

◆ ウスユキソウ属
③4 ミネウスユキソウ

Leontopodium



ミネウスユキソウ
雪倉岳 8月1日



母種ウスユキソウ
三国山 7月24日

本州の中北部の高山に産する。本県では雪倉岳～朝日岳周辺にたくさん見られる。学名 *F. shiroumense* (白馬岳の) で母種の高山型・母種は低山帯～亜高山帯に産するウスユキソウ *Japonicum* (日本の) で頭花に柄がある。本種は柄が無いことで区別するが、頭部の葉が白くなり母種と異なり高貴さがちがう。属名レオントポデウムはギリシャ語で Leon (ライオン) + podium (小足) から作られている。

編集こうき


▲中間山地の集落の過疎化が深刻だ。集落を守る人達の高齢化が一層過疎化を加速させている。そんななか久し振りに山古志を訪れる機会があった。中越地震で壊滅的な被害を受け全村避難したにもかかわらず、旧にもまして立派な道路が整備され住宅や重要な産業の農業や養鯉池なども復旧が著しく元の集落での暮らしを取り戻しつつあった。以前にもまして立派な環境を備えつつあるのは、やはり住民のふるさとへの強い想いと生産両面への深い愛情があったに違いない。整備された棚田に植えつけられた早苗がなんとも誇らしげだった。

▲いつもの男が作る簡単料理だ。芳しい若葉の緑も深くなり薫風が清々しい。知り合いの垣根越しに声をかけて貰ってきた、木の芽(サンショの若葉)をつかおう。スーパーから買ってきた半生の身欠ニシンは一口大に切っておく。よく熱した中華ナベに大サジ3～4位の油を入れ、辛味のタカノツメとカットしておい

た身欠ニシンを身崩れしないように火を通し砂糖で甘味をつけておく。タカノツメがなかったら七味で良い。オタマに3分の1ほどの味噌は酒で溶けやすくしておき、火の通ったニシンと丁寧に炒め混ぜて、木の芽6～7枚は細かくチギツテおいて火を止めたナベにパツと入れて混ぜ合わせて容器に移す。木の芽(サンショウ若葉)以外はショウガを使う。ニシン味噌の出来上がり、どうだ!

会報・編集 浅野

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス
 **ICI 石井スポーツ**
 新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134代
 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th Anniversary

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp

登山・ハイキング・クライミング
 テレマーク&山スキー

Mountain & Outdoor
Parr Mark

パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
 TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
 ●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

平成21年度「日本山岳協会山岳共済会」会員募集開始!

1. 「山岳共済会」(入会費無料、年会費1000円)

※高校生及び18歳未満は年会費500円です。

- 山や自然が好きなお互の相互扶助と自立をめざす仲間の集まり、それが山岳共済会です。
- 山岳共済会は安全登山をめざし、登山技術の向上や普及、遭難予防と対策など各種の事業を支援しております。
- 山岳共済会は日本の山岳遭難捜索保険の草分けです。4万4000人の会員を持つ最大級の山岳共済です。
- 団体傷害保険は山岳共済会が団体契約している保険です。山岳共済会会員にならないと加入できません。

2. 団体傷害保険の種類(家を出てから帰るまで、日常の傷害事故も補償しています)

■ 団体傷害保険<山岳登山コース>

通常の登山からロープ、アイゼン、ピッケルを使用する登山まで幅広く補償しています。

傷害時の入・通院費用については、オプションの<入院・通院保険>に加入しないと補償されません。

■ 団体傷害保険<軽登山コース>

ハイキングや軽登山などロープ、アイゼン、ピッケルを使用しない場合の事故に対して補償されます。

■ 団体傷害保険<山岳登山コース>

保険金額	保険タイプ	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
死亡・後遺		100万円	100万円	159万円	159万円	235万円	238万円	500万円	500万円
遭難捜索		100万円	100万円	150万円	150万円	200万円	200万円	500万円	500万円
入院(1日)		1,000円	—	1,000円	—	1,500円	—	2,500円	—
通院(1日)		600円	—	600円	—	900円	—	1,500円	—
賠償		1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料		5,850円	3,560円	7,490円	5,200円	10,440円	7,000円	21,680円	15,950円

■ 団体傷害保険<山岳登山コース・中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
4月	5,850	3,560	7,490	5,200	10,440	7,000	21,680	15,950
5月	5,360	3,260	6,870	4,770	9,570	6,420	19,870	14,620
6月	4,880	2,970	6,240	4,330	8,700	5,830	18,070	13,290
7月	4,390	2,670	5,620	3,900	7,830	5,250	16,260	11,960
8月	3,900	2,370	4,990	3,470	6,960	4,670	14,450	10,630
9月	3,410	2,080	4,370	3,030	6,090	4,080	12,650	9,300
10月	2,930	1,780	3,750	2,600	5,220	3,500	10,840	7,980
11月	2,440	1,480	3,120	2,170	4,350	2,920	9,030	6,650
12月	1,950	1,180	2,500	1,730	3,480	2,330	7,230	5,320
1月	1,460	890	1,870	1,300	2,610	1,750	5,420	3,990
2月	980	590	1,250	870	1,740	1,170	3,610	2,660
3月	490	300	630	430	870	580	1,810	1,330

■ 団体傷害保険<軽登山コース>

保険金額	保険タイプ	I	II
死亡・後遺		176万円	276万円
救援者費用		300万円	300万円
賠償		1億円	1億円
入院(1日)		2,000円	4,000円
通院(1日)		—	1,700円
保険料		2,000円	5,000円

■ <軽登山コース>の注意

※軽登山コースの救援者費用は疾病の時には補償されませんのでご注意ください。

<中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	I	II
4月	2,000	5,000
5月	1,830	4,580
6月	1,670	4,170
7月	1,500	3,750
8月	1,330	3,330
9月	1,170	2,920
10月	1,000	2,500
11月	830	2,080
12月	670	1,670
1月	500	1,250
2月	330	830
3月	170	420

■ <海外山岳コース>

契約基本タイプ
 死亡・後遺 100万円
 遭難・捜索 500万円
 個人賠償 1億円
 保険料は対象の山岳、日数により個別に見積りすることになりましたので山岳共済事務センターにお問合せ・申込をお願いします。
 ■ 保険料の例
 保険期間9日迄 3,910円
 30日迄 7,300円

3. 団体傷害保険加入方法(継続会員ならびに団体申込会員)

- 「共済会費+団体傷害保険保険料」を払い込んでください。

(例) 団体傷害保険1Cコースに6月から加入する場合

共済会費+団体傷害保険保険料(1,000円+8,700円=9,700円)を払い込んでください。

- 共済会新規加入者は先に共済会入会申込(入会費無料)をし、入会受付確認後上記手続きをお願いします。

事務受託: 日本山岳協会山岳共済事務センター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707 月~金 10:00~17:00(土・日・祭日除く)
 電話 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397 Eメールアドレス sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp